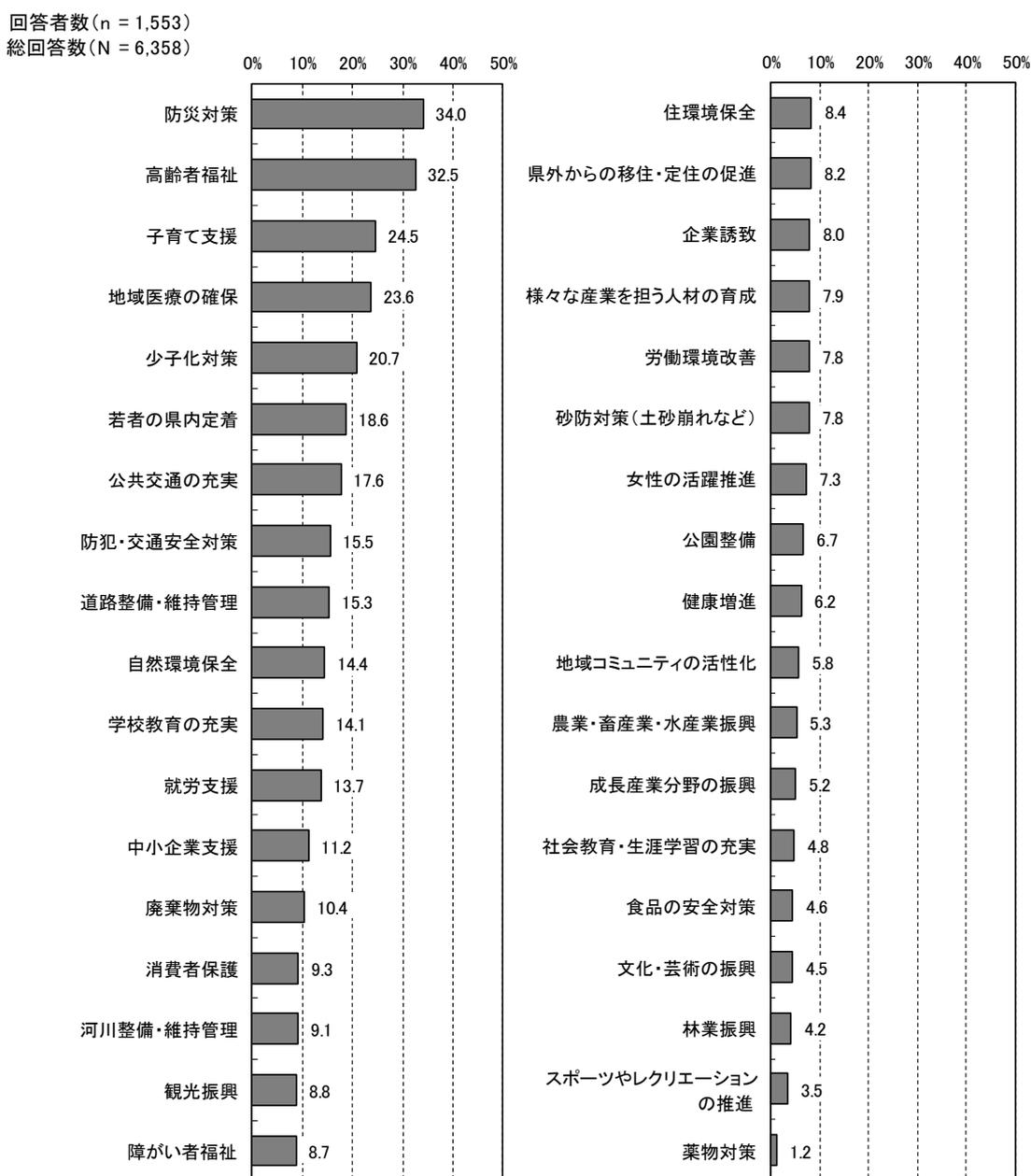


## 問11 重点的に進めるべきだと思う分野

問11 あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。  
(5つまで)

全体(図11-1)でみると、「防災対策」が34.0%と最も高く、次いで「高齢者福祉」(32.5%)、「子育て支援」(24.5%)の順となっている。

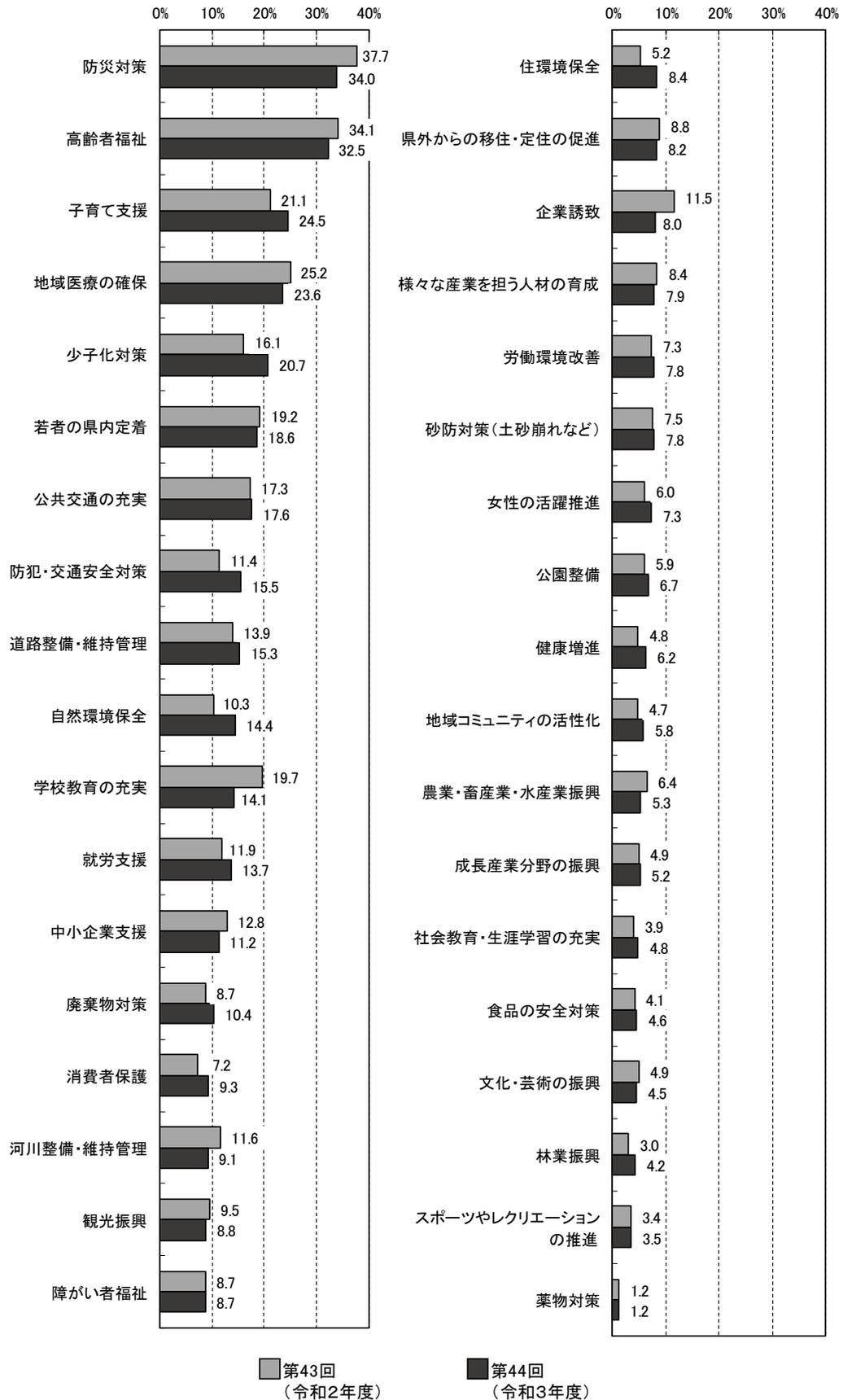
図11-1 重点的に進めるべきだと思う分野



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。  
・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

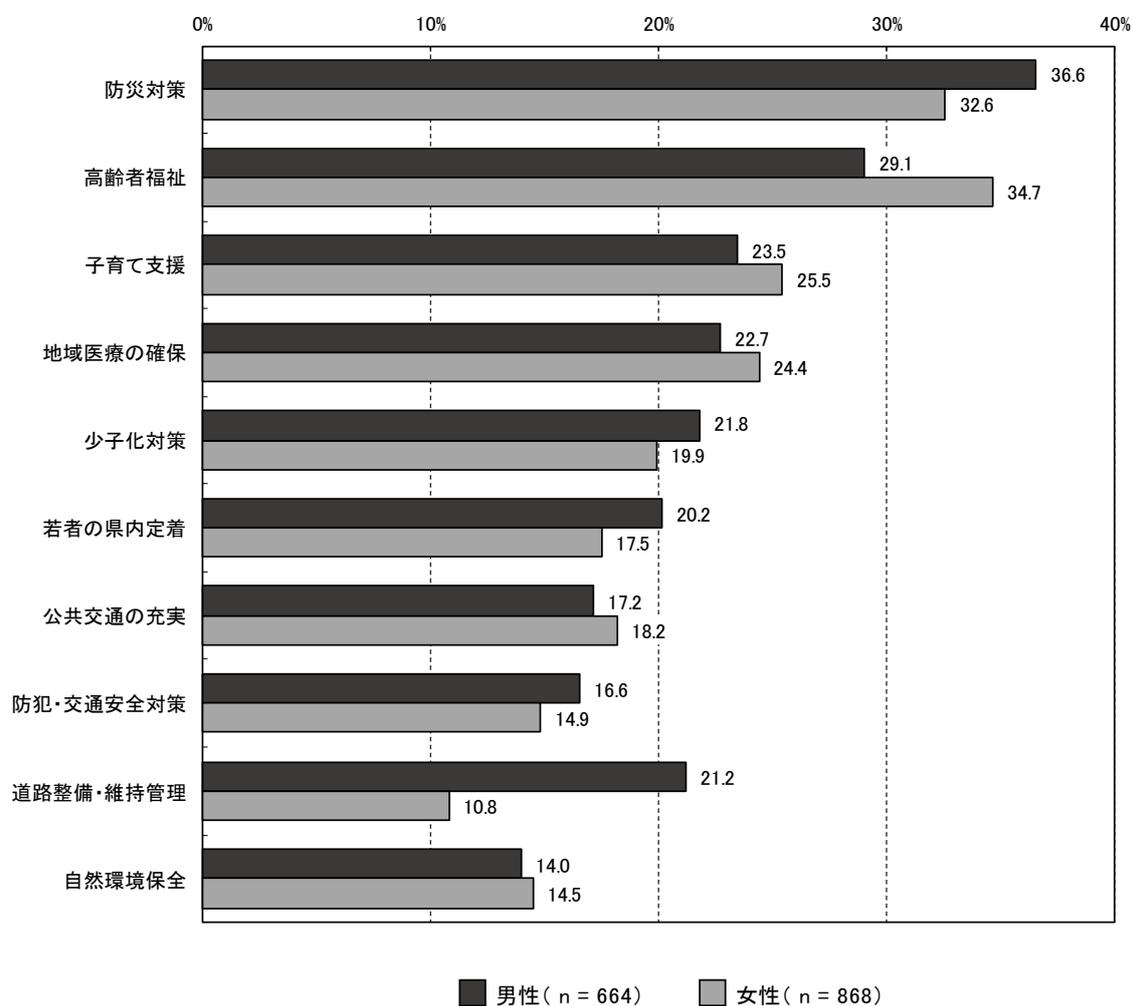
前回比較（図 11-2）でみると、前回に続き「防災対策」が最も高く、次いで「高齢者福祉」となっている。

図 11-2 【前回比較】 重点的に進めるべきだと思う分野



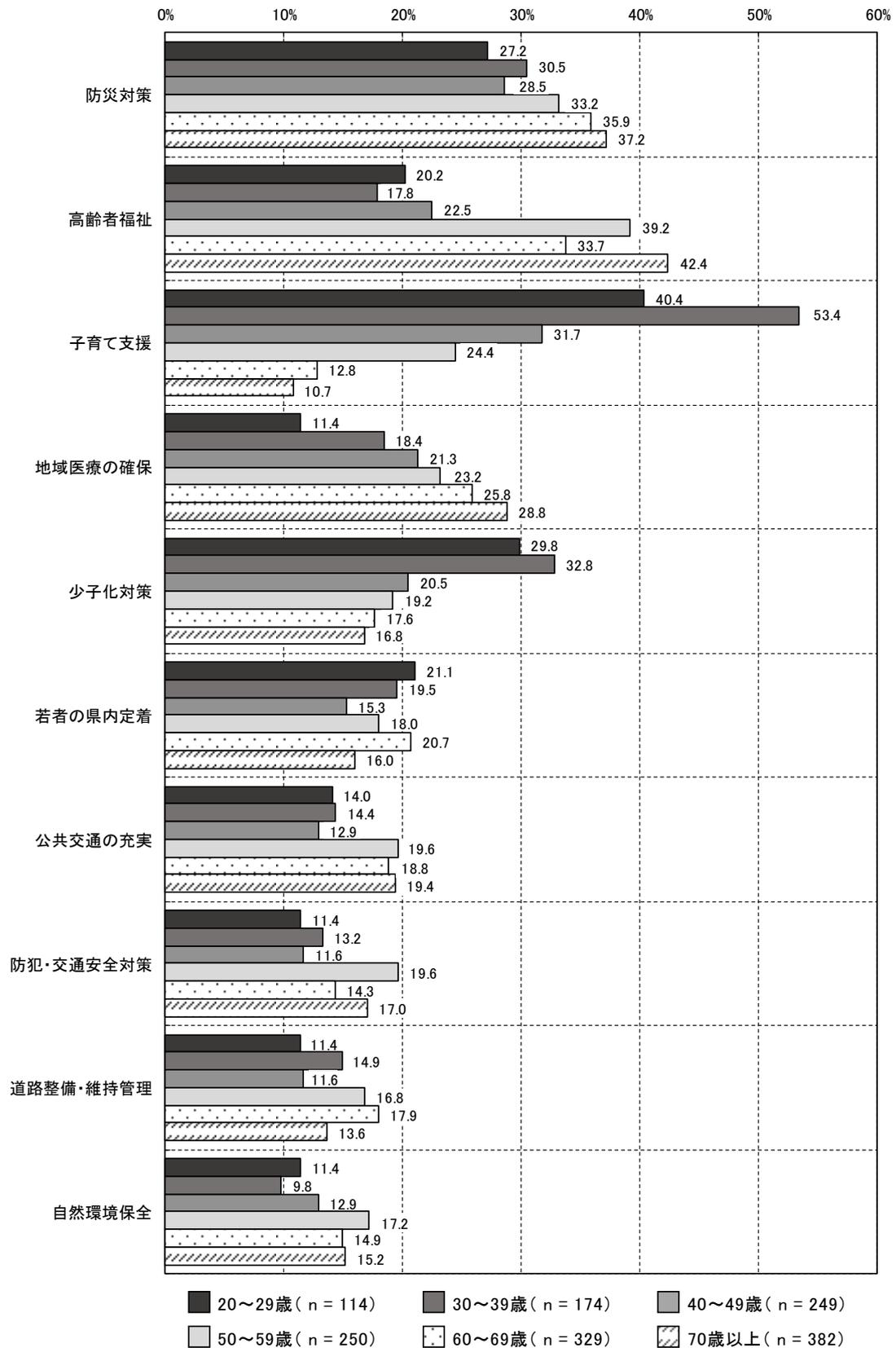
性別（図 11-3）で見ると、男性は「防災対策」が最も高く、女性は「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 11-3 【性別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



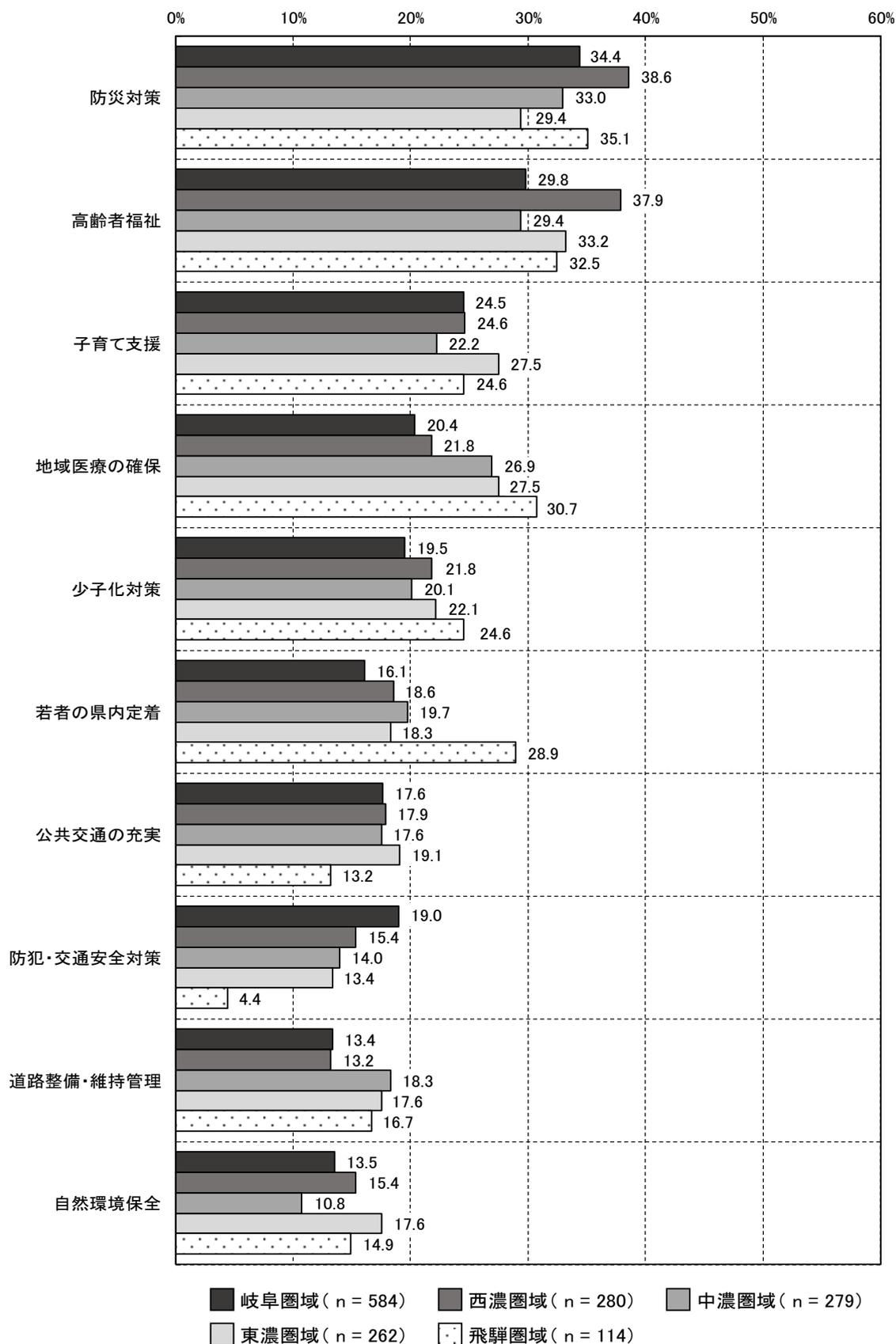
年代別（図 11-4）で見ると、20 歳代、30 歳代、40 歳代は「子育て支援」が、50 歳代、70 歳以上は「高齢者福祉」が、60 歳代は「防災対策」が最も高くなっている。

図 11-4 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



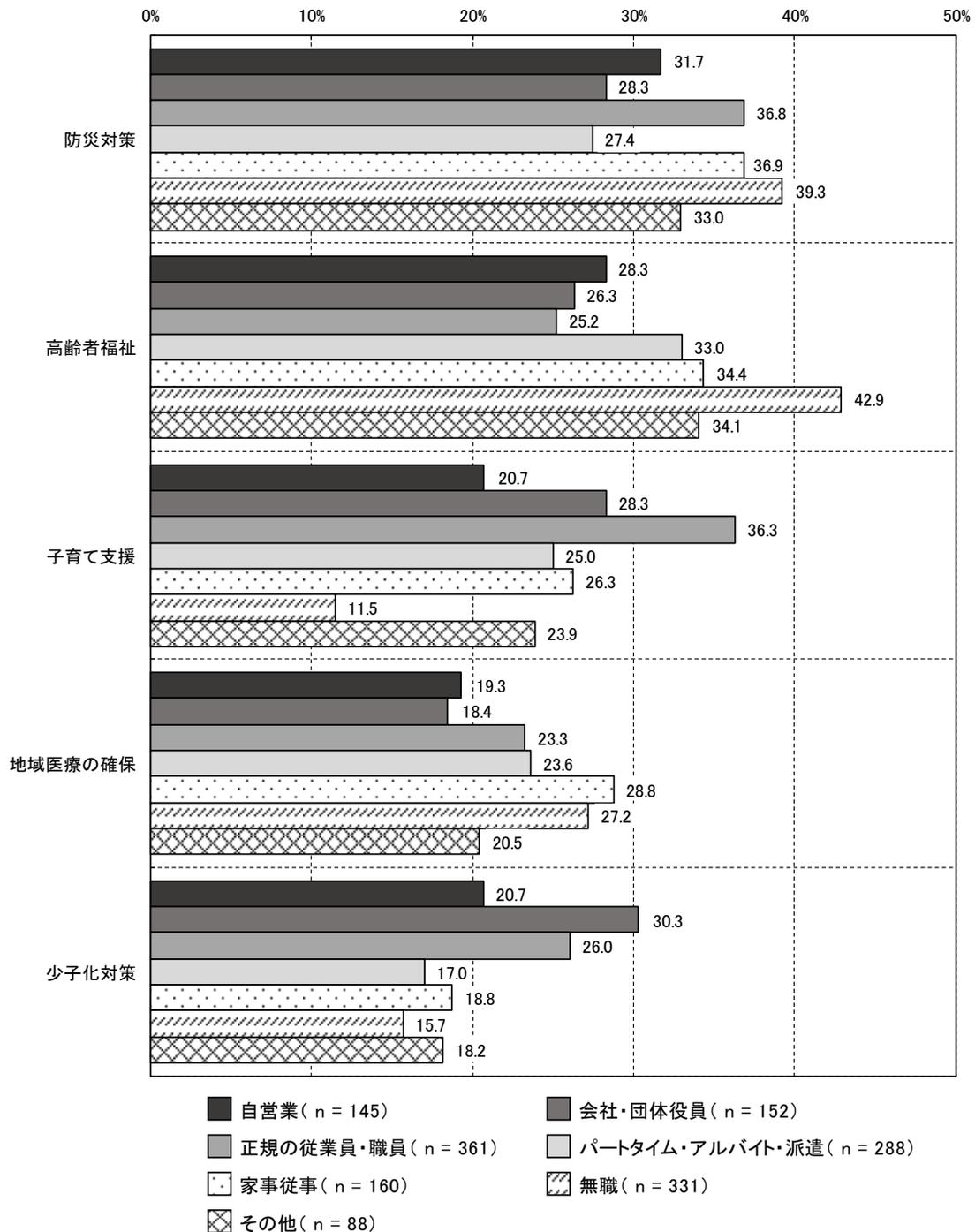
居住圏域別（図 11-5）でみると、東濃圏域を除くいずれの圏域においても「防災対策」が最も高く、東濃圏域では「高齢者福祉」が最も高くなっている。飛騨圏域では「若者の県内定着」が他の圏域に比べて高くなっている。

図 11-5 【居住圏域別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



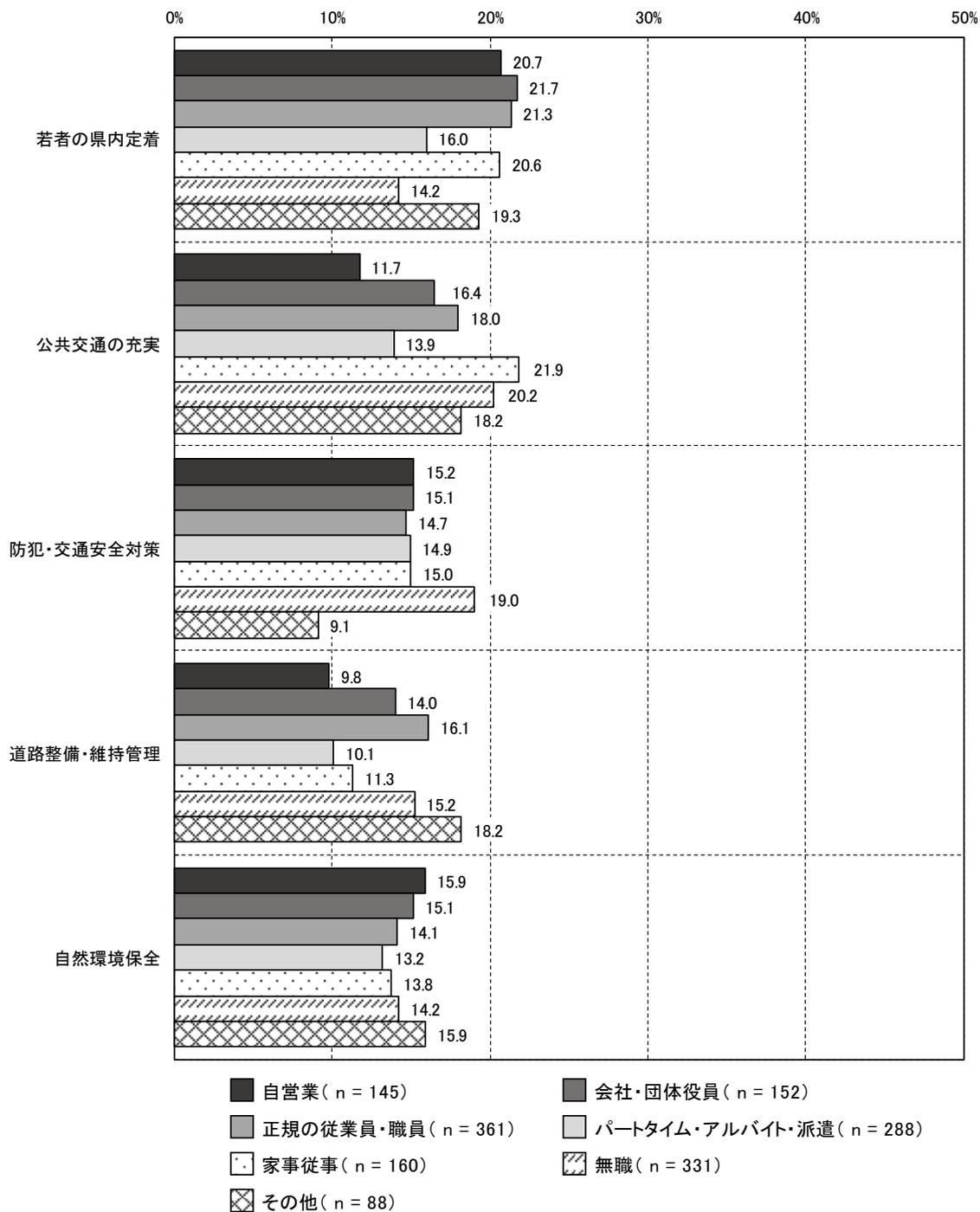
職業別（図 11-6）で見ると、自営業、正規の従業員・職員、家事従事は「防災対策」が、会社・団体役員は「少子化対策」が、パートタイム・アルバイト・派遣、無職、その他は「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。